

令和 8 年度 松山東雲高等学校 調査書記入要領

1 全体的な留意事項

- (1) 記入にあたっては、原則として数字はアラビア数字を用いて楷書で正確に記入する。
- (2) パソコンによる作成でもかまわない。
- (3) 記入事項のないときは、該当欄に右下がりの斜線を引く。
- (4) 該当事項を選択する場合は、○で囲む。
- (5) 生徒指導要録から摘記する事項については、その要点を的確に記入する。
- (6) ※印欄は、高等学校において記入する。

2 記入上の注意

- (1) 組・番は、各学級の出席簿のとおりとする。
- (2) 出欠の記録
 - ア 生徒指導要録から転記する。ただし、卒業見込みの者の第 3 学年については、第 2 学期末現在で記入する。
 - イ 「備考」欄には、各学年で欠席日数が 10 日以上または連続して 5 日以上の場合は、その主な理由（病名等）を記入する。
- (3) 「卒業・修了後の経歴」欄には、過年度卒業・修了者について卒業・修了後の状況を具体的に記入する。
- (4) 各教科の学習の記録
 - ア 観点別学習状況の評価
 - (ア) 第 3 学年の観点別状況の評価を記入する。観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の 3 観点になっていることに注意。
 - (イ) 卒業・修了見込みの者の第 3 学年の評価は、第 2 学期末までの学習状況を評価し、各教科の観点ごとに A 及び C のみ記入する。
 - イ 評定
 - (ア) 第 1～第 3 学年について、生徒指導要録の 5 段階評定をそのまま転記する。
 - (イ) 卒業・修了見込みの者の第 3 学年の評定は、第 2 学期末までの学習状況を総合して、教科ごとに 5 段階評定したものを記入する。
- (5) 総合的な学習の時間の記録
いずれか一つの学年について、学習活動（テーマ等）を記入すること。
- (6) 特別活動の記録
 - ア 第 1～第 3 学年の特別活動等の記録を記入する。
なお、卒業・修了見込みの者の第 3 学年については、第 2 学期末までの活動が、内容ごとにその趣旨に照らして、「十分満足できる状況にある」と判断される場合には、所定の欄に○印を記入すること。
 - イ 「主な事実」欄には、主として○印を付けたものについて、係名や委員会名及び学校行事における役割等を記入すること。
- (7) 行動の記録
 - ア 第 3 学年の行動の記録を記入する。
 - イ 卒業・修了見込みの者の第 3 学年については、第 2 学期末現在で、各項目の趣旨に照らして「十分満足できる状況にある」と判断される場合には、所定の欄に○印を記入する。
- (8) 諸活動の記録
学校内外のスポーツ活動、文化活動、奉仕活動、その他の活動において熱心に活動したものや実績をあげたものについて、例えば、学年、種目、大会名、結果等について、簡明に記入すること。
- (9) 総合所見
本人の能力、適性、人物、また学習に影響を及ぼす健康の状況その他必要な事項について記入すること。